

Shada-ada



- Meet the Music Carnival
- 音楽の絵本
- **REPORT** 狂言ワークショップ、サンポート狂言会
- **REPORT** 演劇ルネサンス工房
「仔ブタくんを作って動かそう！」

vol. **24** サンポートホール通信
[季刊シャ・ラ・ラ]
2009年秋季号
<http://www.sunport-hall.jp/>



お知らせ

4月1日より、サンポートホール高松プレイガイドが、ホール棟2階管理事務室から、1階総合インフォメーションに移りました。
(受付時間 9:00~18:30 TEL087-825-5008)

ホール・ガイダンス

申込方法

- 窓口にて、使用許可申請書に必要事項を記入してください。
- 会議室、和室、リハーサル室、練習室はサンポートホール高松施設予約管理システム(インターネット)より仮予約ができます。
※ホール、市民ギャラリー、コミュニケーションプラザは不可
<http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

申込受付時間

- 施設利用のご相談 … 9:00~17:30
- 施設使用申請・お支払・利用者登録 … 9:00~17:00

申込受付期間

使用日の1年前の月の初日から、使用日の前日まで。

受付の順位

原則として先着順です。
ただし、受付開始日(毎月1日)については、抽選により順位を決定します。
詳しくは「ご利用案内」や財団ホームページをご覧ください。

<http://www.sunport-hall.jp/>

さんぽーと CLUB

会員だけのうれしい特典やお得なサービスがいっぱい!
一年中いつでもご入会いただけます。

会員期間 1年間 **会費** 年会費 1,000円

特典 ★サンポートホール高松のプレイガイド窓口でのご購入に限ります。

チケットに関する特典

- 財団が指定するチケットを、一般発売に先立ち優先的に予約または購入できます。
- 財団が指定するチケットを、原則上限20%割引をした会員価格で購入できます。
※割引率は公演によって異なります。
※会員価格で購入できるのは、会員お一人様5枚までです。

入会時の特典

- 入会と同時に、財団が指定するチケットを購入する場合、一般価格および学生価格から1,000円引きの価格で購入できます。
※ただし、1,000円引きで購入できるチケットは1枚までとし、初回入会時のみとします。
※1,000円引きでチケットを購入と同時に、会員お一人様4枚までを会員価格で購入できます。
※1,000円引きの特典が適用されない場合もあります。

その他の特典

- 財団が発行する情報誌や、催し物案内等を定期的にお届けします。
- 財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。

入会の手続き

● ご来館によるお申し込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松のプレイガイド窓口にお申し込みください。

● 現金書留によるお申し込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松友の会事務局宛にて現金書留で郵送してください。

会員期間について

会員期間は、入会日から一年を経過した日の属する前月の末日までです。
以後、会員期間を更新するときは、その翌月の初日から1年間とします。



讃岐に来れば、
風情香る味 名物かまど

名物かまど

厳選した手亡豆を使った黄身餡を、卵解きの生地で包み、塩を炊くかまどの形に滋味豊かに焼き上げた、讃岐を代表するお菓子です。



<http://www.kamado.co.jp>

Meet the Music Carnival

平成21年度文化庁「舞台芸術の魅力発見事業」 東京楽竹団

★竹楽器の楽団という珍しいと思うのですが、設立のきっかけを教えてください。

今までにない、パフォーマンス性のある舞台作りを目指して新たにスタートをきりました。メンバーは、創作竹楽器をメインに、楽しい作品を作り出しています。東京楽竹団は昨年夏に結成しましたが、メンバーのほとんどは、それ以前から竹楽器のグループに属していました。

★メンバーの皆さんは音楽大学の打楽器専攻の方が多いとお聞きしましたが、西洋の打楽器と竹楽器を比べると、楽器としてどちらが魅力的ですか？



らにその後は、日々のメンテナンスが待っています。天候によって変化する竹楽器に合わせて私達も動きまわります。「決して慌てず、のんびりと」が大切なのです。それが竹からのメッセージのように感じています。

東京楽竹団の楽器は1本1本手作りです。試行錯誤の末、竹から音を作り出しています。楽器が生まれる瞬間は、それはもう感動的です！まだまだ完成度は低い楽器ですが、愛情でいったら竹楽器に軍配があがるでしょう！「楽器から音を引き出す」という点においては、どちらも大きな違いはありませんが…。

★楽団の竹楽器は手作りということですが、竹林から竹を切り出すところから皆さんで作業をされているそうですね。ひとつの楽器が完成するまでにどのくらいの期間が必要なのでしょう？

切った竹は、油抜き・自然乾燥（3〜4年）を経て、ようやく楽器を作れる状態になります。竹マリリンバの場合は、完成までに少なくとも5年ほどの時間を要します。さら

★今回の高松公演で使う代表的な楽器を教えてください。

竹マリリンバ、マウイマリリンバ、スタンパ、スリットラム、波筒、竹ボラなど演奏する予定です。



★商店街でのワークショップも楽しみですが、どんな楽器を作るのでしょうか？

マリリンバを作ります。フィリピンのルソン島に暮らすカリンガ族の竹楽器です。形からは想像もつかない、不思議な音が出ます。（どんな音かはお楽しみに！）

一人でも楽しめるユニークな楽器です。マリリンバを鳴らしながら歩くと、蛇除けになるそうですよ。

★最後に高松公演へ向けての意気込みを！

「竹」という身近な植物が、こんなにも魅力的な音の持ち主だったことを、一人でも多くの方に知ってもらいたいと願っています！東京楽竹団には、あなたに会ってほしい音が詰まっています。会場でお会いしましょう！

公共ホール音楽活性化支援事業 ブラック・ボトム ブラッスバンド (BBBBB)

★1993年に大阪音楽大学の学生を中心に結成されたそうですが、結成のきっかけを教えてください。

1993年に、ニューオーリンズから来日していた「ダイタズンブラッスバンド」のライブを見に行ったんです。それはそれは衝撃的でした。その興奮の中から、同じようなバンドをやりたい！という思いで誕生したのがBBBBBです。

大阪音大JAZZ科にはジャズ大好き人間がたくさん集まっていたのも、大きな要因だと思っています。

★ニューオリンズスタイルのブラッスバンドの特徴はどんなところにあるんですか？

スーザフォン、ペーシドラム、スネアドラムから生まれるリズムが最大の特徴だと思っています。その上でトランペットやサククス、

トロンボーンが遊ぶ！躍動感のあるニューオリンズスタイルは世界最高のブラッスバンドスタイルだと思います。

★全国各地で子どもたちを対象としたワークショップが大好評だそうですが、いつもどんな工夫をしているんですか？

楽しい気持ちになって、たくさん笑顔から出る音って、たまらなくハッピーなんです。なので、そういう音がたくさん集まるよう、あの手この手で…そういう音でつくる音楽は最高ですよ！

★パレードとホール公演それぞれの特徴・聴き所を教えてください。

一番の違いは、見える景色だと思っています。パレードでは、どんな景色が変わっていくのが楽しいですし、ホールでは景色は変わりませんが、ガッツリ長時間音楽を聴いてもらえる。どちらも違った楽しさがあります。是非、両方の楽しさを満喫してくださいネ！

YASSY (ヤッシー)

神戸市出身。Trombone
【好きな人物とその理由は？】ルイ・アームストロングが大好き！音楽も表情も宇宙一。
【いい男の定義とは？】見た目じゃなく魅力あふれる人間味かな！

KOO (クウ)

神戸市出身。Trumpet
【今の夢は？】ゆくゆくはフルマラソンにチャレンジしたい。そしてまだサーフィンを楽しみたい。
【今もしBBをやっていたら？】とにかくトランペットは吹いているはず。

IGGY (イギー)

加古川市出身。Tenor sax
【今まで一番印象に残っている土地は？】竹島。青い空と海、真っ白なサンゴの道、オリオンビールに泡盛、最高です！
【今もしBBをやっていたら？】音楽の先生

TAMOTSU (タモツ)

神戸市出身。Sousaphone
【その楽器を選んだ理由は？】中学のブラッスバンドで先生に強要されたから。
【今もしBBをやっていたら？】ザ・公務員



MONKY (モンキー)

神戸市出身。Alto sax / Baritone sax
【今まで一番印象に残っている土地は？】高校時代を過ごした神戸の湊川、長田、新開地界隈。毎日アホなことばかりやって必死で楽しんでたし、何よりスリリングやったから。
【音楽以外の趣味は？】写真を撮ること。映画を観ること。友達とワイワイ呑むこと。

OJI (オージ)

芦屋市出身。Snare drum
【その楽器を選んだ理由は？】親父もドラムをやって家があったので、いつのまにか自然とさわってました。
【今まで一番印象に残っている土地の思い出は？】やはりニューオーリンズですね！大好きな街です！

ANTON (アントン)

奈良市出身。Bass drum
【自分を動物に例えると？】チーターの様なスピード感溢れる男になりたい。
【現在のマイブームは？】ヘビーメタル！

【日時】2009年10月25日(日)
【会場】第2小ホール 14:00開演
【チケット料金】全席自由
一般 2,000円(会員1,800円)
学生 1,000円(小学生以上高校生以下)

【日時】2009年10月24日(土)
BBBB商店街パレード
【時間】14:00~
BBBB&古高松小学校ミニコンサート
【時間】15:00~【場所】高松丸亀町番町前ドーム広場

■助成…財団法人地域創造
■制作協力…社団法人日本クラシック音楽事業協会

【日時】2009年10月21日(水) ①10:30開演 ②13:30開演
【会場】第2小ホール
【チケット料金】全席自由
一般 2,000円(会員1,800円) ケーキ&ドリンク付
【指揮】小森 康弘
【出演】瀬戸フィルハーモニー交響楽団

【日時】2009年10月17日(土)
瀬戸フィルアンサンブルミニコンサート
【時間】16:00~【場所】高松丸亀町番町前ドーム広場



※写真はイメージです。
ALICE IN TAKAMATSU
by QUEEN ALICE



- プログラム
- 踊り明かそう…映画「マイ・フェア・レディ」より
 - 愛の賛歌…映画「愛の賛歌」より
 - オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より
 - オペラ「カルメン」より
 - アメイジング・グレイス
 - いい日旅立ち

ほか

瀬戸フィルアンサンブル ティータイムコンサート

【日時】2009年10月18日(日)
【会場】第2小ホール 14:00開演
【チケット料金】全席自由
一般 2,000円(会員1,800円)
学生 1,000円(小学生以上高校生以下)

【日時】2009年10月17日(土)
竹楽器ワークショップ
【時間】14:00~16:00【場所】高松丸亀町番町 4F カルチャールーム
東京楽竹団ミニコンサート
【時間】16:30~【場所】高松丸亀町番町前ドーム広場

※各公演・ワークショップの詳細については、別途Meet the Music Carnival (MMC)プログラムをご覧ください。

ズーラシアンブラス & 弦(つる)うさぎがまたやってくる!!

ズーラシアンブラス



ゴールドターキン(トランペット)

ズーラシアンブラスの強力な助っ人です。コンサートにはいつも突然あらわれて、終了後は気づくといつもいません。



ドックラングール(トランペット)

素直な明るい性格でみんなにかわいがられています。すぐに緊張するので小さなお守りのお人形を握りしめています。



インドライオン(トランペット)

孤独を愛する天才肌...と見せかけていますが、プライドが高く練習する姿をみんなにみせないだけ。本当はとっても努力家です。



オカピ(指揮)

未来を信じるズーラシアンブラスのリーダー・オカピ。頭の回転が早く、いつも新しいことを考えています。



ホッキョクグマ(チューバ)

いつもよけいなことはしゃべらず、どっしりとかまえています。でも意外とそっかしい面もあわせもっているようです。



スマトラトラ(トロンボーン)

おぼっちゃま育ちでジャズが大好き。おだてられるとすぐに調子に乗りますが、意外にアがり症です。



マレーバク(ホルン)

いつも眠っている印象のあるマレーバク。ホルンを吹いていないときは眠っているか、ことわざ辞典を愛読しています。

弦(つる)うさぎ



四女 エイミー(第2バイオリン)

おしゃべりで、おませで、ちょっとわがままな愛すべき女の子です。自分では十分に大人だと思っています。



三女 ペス(ピアノ)

優しい女の子。とっても内気で外に出るのが苦手です。本人は家で静かに本を読んでいるのが何より幸せなのです。



次女 ジョー(チェロ)

威勢が良くて元気いっぱい、少しがんごでもあります。新しいことを思いつくのも得意です。



長女 メグ(第1バイオリン)

小さい頃からしっかりもので、近所でも評判の優等生。妹たちをまもらなくちゃ、と考えるまじめなお姉さんです。

音楽の絵本

おんがくのえほん

～親子のためのクラシックコンサート～

子どもたちの豊かな感性・集中力がぐんぐん育つ。そんな不思議で楽しいクラシックコンサートが高松を熱くする。

音楽の絵本は、0歳からの本格的クラシックコンサートですが、肩肘張った堅苦しいものでも、子どもたちだけが楽しめるものでもありません。ここで少し、一昨年の公演の様子をご紹介します。動物たちが織りなす不思議なクラシックコンサートが、初めてサンポートホール高松に登場したのは2年前の7月7日。開場を待つお客様の前にズーラシアンブラスのメンバーが突然現れ、ファンファーレを披露。見たこともない希少動物たちに目を丸める子どもたちや、愛らしい姿にわあーっと歓声をあげる子どもたち。公演中は、誰しもが目を輝かせながら夢中で演奏に耳を傾ける姿が見られ、あまりの楽しさに客席から自然と歌声が湧きあがり、大合唱になる場面もありました。終演後はロビーにてサイン会を開催。特に男の子はズーラシアンブラスと、女の子は弦(つる)うさぎたちと握手をしたり、一緒に写真撮影もでき、大満足で家路につきました。さあ、いよいよ、あの音楽の絵本の動物たちがさらにパワーアップして再登場します。サンポートホール高松からの、少し早いクリスマスプレゼントをお聴き逃しなく。

指揮者オカピさんからのメッセージ



みなさんこんにちは。指揮者のオカピです。「サンポートホール高松」にぼくらがおじゃまするのは今年で2回目になります。12月に行くのは初めてなので、クリスマス曲もたくさん演奏したいな～とみんなで話しています。どんな曲を演奏するかお楽しみに...!クリスマス前の1日をぼくらのクラシックコンサートで素敵にお過ごしいただけると嬉しいです。また高松のみなさんにお会いできるのを出演者一同とっても楽しみにしています。(オカピ)

【日時】2009年12月13日(日)
14:00開演(13:30開場)
【会場】大ホール
【チケット料金】 全席指定
一般 1,800円(会員1,600円)
※3歳以下のお子様は無料。ただし、お席が必要な場合は有料。
【プログラム】
★剣の舞
★エンターティナー
★クリスマスメドレー
★とんでったバナナ
★オリーブの首飾り
★ルパン三世 ほか

年齢による入場制限はありません。
ベビーカーでご来場いただけます。ベビーカーはロビーにてお預かりします。

ちよつと教えて!
おむつを交換したり、ミルクをあげる部屋はありますか?
A. はい、授乳室が大ホール1階および2階に1カ所ずつございます。
子どもが泣きやまないなどで、途中退席は可能ですか?
A. はい、可能です。子どもさんが落ち着いてから曲間でお席にお戻りください。



REPORT

演劇ルネサンス工房

夏休み 親子のための
マリオネットづくり
ワークショップ vol.2

仔ブタくんを作って動かそう！

下記の日程で開催されました

【日時】 2009年8月20日(木)～22日(土)
【講師】 かわせみ座 (山本 由也・益村 泉)
【参加人数】 36名



3 まずは2個の牛乳パックから頭(かしら)と体(ボディ)を作ります。意外と牛乳パックは頑丈で切りにくそうです。あつ、指は切らないでね…

2 マリオネットのしくみと、これからの工程を真剣に聞きます。さあ、制作スタートです。



1 最初に木箱から周りの様子を窺いながら飛び出した「小さな妖精」。まるで生きていっているような動きやいたずらに驚きです。「先輩仔ブタくん」の「ボク達の仲間を作ってね」のあいさつに子供たちは、ちよっぴりはずかしそうに返事をしました。

昨年に引き続き、かわせみ座から山本由也さん・益村泉さんを講師に迎え、今年も牛乳パックから仔ブタくんのマリオネットを作る「親子のワークショップ」を開催しました。



5 そして3日目にやっと可愛い仔ブタくんが出来上がりました。最後のバランス調整をしてもらい、マリオネットの扱い方を習って、みんなで行進！



4 型紙から手足耳は準備できました。次に好きな布を選んで貼ってだんだん表情や風合いが愛らしくなります。糸・テグスなどの扱いはちょっと難しいかな？そこはお母さん達の出番です。



子ども達から

ほんとうに牛乳パックから仔ブタが出来てびっくりしました。難しいところもあったけど楽しかった。出来上がったときとてもうれしかった。もっとうまくあつかえるになりたい。夏休みの宿題もできてよかったです。

保護者から

途中難しい工程もあったけど協力して作る楽しさと出来上がってからの遊ぶ楽しさがありとても満足しています。日頃子どもと一緒に何かをするということが少ないため3日間じっくりと時間が過ぎてよかったです。

先生から

子どもたちの表情や作業を確認しながらじっくり指導ができてよかったです。それぞれ個性豊かなブタさんをみんなが大切に、でも楽しんで使って、遊んでくれるといいと思います。機会があれば人形劇のすばらしさもお届けしたいです。



6 家族で協力して作り上げた仔ブタくんがまるで家族の一員になったよう。みんな満足そうな笑顔です。



REPORT

からだのヴォキャブラリーシリーズ vol.1 「からだのかたち 様式の探検」

下記の日程で開催されました

【日時】 2009年7月21日(火)
14:00～15:30
【会場】 大ホール
【内容】 狂言ワークショップ
狂言「附子(ぶす)」



体全体で発散する狂言

室町時代から600年続く、日本が誇るエンターテイメントである狂言。狂言には、「お腹の底から声を出し、表情豊かにはっきりと話し、体全体を使って大きく動く」という、普段私たち現代人がなかなか味わうことのない「発散」の要素がたくさんあります。今回のサンポート狂言会では、そんな狂言の世界に直に触れ、表現することの楽しさを感じていただこうと、本公演に先立ち、「万作の会」の狂言師である深田博治氏と月崎晴夫氏による狂言ワークショップを行いました。

大ホールに雷様!?

ワークショップ参加者は小学4年生以上の親子16名、会場は本公演に所作台を敷き詰めた大ホールの舞台、客席には約80名の見学者の方々。まずは、深田氏から狂言についての解説がありました。舞台の設えについての説明、演者の口上や手の動きなど、そのひとつひとつに意味があることを教わりました。そして、いよいよワークショップ

開始です。参加者は、普段履く機会がめったにない足袋を履き舞台へ。正座をし、よろしくお願ひします、のあいさつ。登場人物が最初に述べる、自己紹介の定番の台詞を両氏がお手本として披露し、みんなでも真似てみます。台詞の次は、体全体を使った表現です。狂言の立ち姿勢である、ちよっとな前かがみの姿勢で、「この辺りの者でござる」。

子ども向けの狂言のテレビ番組の影響もあるのか、なかなか悦に入った語り口調の小学生の参加者もいて、会場からは笑いが絶えることがありませんでした。

最後の仕上げは、狂言に登場する様々な役柄の中から、深田氏が雷様をチョイス。身振り手振りとともに、「ゴロゴロゴロゴロゴロゴロ、ガツシャーン!」と、参加者の皆さんが雷様になりきって大ホールに雷鳴がとどろきました。

ワークショップの後はそれまでの解説を踏まえ、万作の会による狂言「附子」を鑑賞。なんとなく見るのではなく、演者のひとつひとつの動きや顔の表情に注目し、衣ずれの音まで聞こえるほど間近で狂言をご覧いただきました。ワークショップ参加者の皆さん、見学者の方々には、一味違う狂言の魅力を感じていただけたようです。

REPORT

サンポートホール高松開館5周年記念事業 野村万作・萬齋 サンポート狂言会

下記の日程で開催されました

【日時】 2009年7月21日(火)
19:00開演
【会場】 大ホール
【内容】 狂言「蚊相撲(かすもう)」
狂言「六地藏(ろくじそ)」



「蚊相撲」より



「六地藏」より